

---

# 一 般 質 問 通 告 書

---

(通告者 14名)

平成22年裾野市議会6月定例会

# 目

# 次

## 6月16日(水)

1 渡部 昭三 議員……1 P～2 P

2 大庭 高志 議員……3 P～4 P

3 大庭 敏克 議員……5 P～7 P

4 吉岡 隆夫 議員……8 P

5 増田喜代子 議員……9 P～10 P

## 6月17日(木)

6 三宮美代子 議員……11 P～12 P

7 岩田 広行 議員……13 P～15 P

8 小林 俊 議員……16 P

9 小澤 良一 議員……17 P

10 賀茂 博美 議員……18 P

## 6月18日(金)

11 瀧本 敏幸 議員……19 P～21 P

12 岡本 和枝 議員……22 P

13 杉本 和男 議員……23 P

14 二見 榮一 議員……24 P～25 P

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>1. 渡 部 昭 三</p>	<p>健康増進モデル都市として「健康文化都市すその」の創造を目指す裾野市にとって、富士山麓先端健康産業集積構想（ファルマバレープロジェクト）の発展は、「健康増進」「経済基盤確立」をさらに強固にするものと思われます。  その一端を担うのが健康筋力向上トレーニング事業であります。  以下、当事業の成果と今後の事業施策について、当局の考えを伺う。</p> <p>(1) 裾野市第5次保健福祉計画の概要について  第5次計画（平成21年度～平成23年度）の基本目標を伺う。</p> <p>(2) 中高年者筋力向上トレーニング事業の推進について  平成16年度からスタートした筋力向上トレーニング教室は、平成21年度末で6年が経過しました。平成22年度は、新規トレーニングマシン8台を別室（旧勤労青少年ホーム）へ配備し、スタートしました。「まちなか健康筋力向上トレーニング教室」として、利用者の利便性や、市内循環バスすその一の利用等により、1人でも多く参加していただくことに期待しています。  そこで、第4次の実績及び第5次の実績・計画の概要を伺う。</p> <p>(3) 中高年者筋力向上トレーニングフォローアップ事業について  第5次計画の施策の概要を伺う。</p> <p>(4) 新規配備した「認知動作型トレーニングマシン」について  概要と指導者の対応を伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 名 職
<p>2 裾野駅東西自由通路の建設とエレベーター設置について</p>	<p>(5) 中高年者筋力トレーニング事業の成果報告について 平成17年度～平成21年度の5年間の事業成果をまとめ、「裾野市健康づくり推進事業報告書」として作成し、富士山麓ファルマバレー戦略の一つである「健康まちづくり」を内外にPRしてはどうか、当局の考えを伺う。</p> <p>(6) 中高年者筋力向上トレーニング事業の受講者、受講修了者全員に対しアンケートを実施し、平成23年度以降、第6次計画並びにスキルアップ教室等の事業実施に反映してはどうか、当局の考えを伺う。</p> <p>裾野駅周辺の市街地整備は、裾野駅西土地区画整理事業として平成9年7月に都市計画決定、平成15年2月に事業認可を経て、裾野駅周辺の整備がスタートしました。 課題として、道路整備が遅れており、十分な歩行者空間が確保されていない駅周辺地域の高齢化がひときわ進んでいる等、高齢者、障害者の福祉支援や乳幼児等の育児支援の面からも課題解決のための施策として、住環境整備は急務であります。 特に、裾野踏切の歩道は狭く、自転車や乳母車、車椅子、手押し車等の往来時は非常に危険な状態にあります。駅利用者の利便性、安全性向上の観点からも裾野駅西土地区画整理事業と併せ、裾野駅自由通路の整備促進をお願いしたい。 このことについて、以下質問します。</p> <p>(1) 裾野駅東西自由通路の工事計画について、現況を伺う。</p> <p>(2) 裾野駅東西自由通路建設に伴いエレベーター設置を市民は強く望んでいますが、当局の考えを伺う。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>2. 大庭高志</p>	<p>3月定例会で同僚議員の呼びかけに、当局が「事業仕分け」を早々にやりたい旨の答弁があった。そこで、以下質問させていただきたいが、そもそも議会側から「事業仕分け」を当局側に求めるのはいかがかと思う。議会には議決権があり、補正を含めた予算の議決と適正な事業執行の監視としての決算審査・認定があり、いくら世間で流行っていても、自らやりましようとは言い難い。しかし、当局がやりますとおっしゃるので質問します。</p> <p>(1)「事業仕分け」の目的と方法について</p> <p style="margin-left: 2em;">ア 時期と目的</p> <p style="margin-left: 2em;">イ 仕分け人を含めたメンバー構成</p> <p style="margin-left: 2em;">ウ 公開性の有無</p> <p style="margin-left: 2em;">エ 結果に対する実行担保と方法</p> <p style="margin-left: 2em;">オ 毎年出てくる市民要望や市民アンケート結果との整合性は。</p> <p>(2)「事業仕分け」は「行政改革大綱」による行政改革の推進や「行政評価制度」の事業の適正化と、どう違うのか。</p> <p>(3) 議会との関連性は出てくるのか。または議会に求めるものはあるのか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>1 事業仕分けについて</p>		

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
2 「新しい公共」について	<p>3月に協働推進計画について、質問させていただいた。「新しい公共」について、その際若干ふれた。そこで以下質問したい。</p> <p>(1) 市長の考える「新しい公共」とは何か。</p> <p>(2) 裾野市条例で、自治会制度が敷かれ、その中で「自治区」と「行政」の関係が一昔前の国と地方の関係のような、つまり、機関委任事務制度的な関係が続いていて、区長は市の「下部組織の人間として使われているようだ」と経験者がよく言われていましたが、「新しい公共」と行政の関係はどのようなになるか。</p>	市 長
3 市管理の田の水引について	<p>市街化区域の「田」が農地転用され、宅地化されている。その際、田への水引として、河川の流末の行き先がなくなることがある。どのように維持管理しているのか。</p>	市 長

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>3. 大庭敏克</p>	<p>(1) 市税、料の徴収率向上 徴収体制の強化と徴収部門の一元化（法人市民税、国保税等）と所得調査部門の設置。</p> <p>(2) 使用料、手数料の見直しを 受益者負担の適正化を図り、手数料、使用料の見直しを行うとともに、減免制度の検討、原価と収入分析の見直し、近隣自治体との比較、分析の実施。</p> <p>(3) 人件費及び職員定数の削減計画 ア 職員定数管理計画を作成し、3～5年を期間として、5～7%の人員削減を実施することは困難か検討したい。</p> <p>イ ラスパイレス指数は、富士市、御殿場市に続いて高く、次年度は県下1位になる可能性があるが、本給や給与表の再調査が必要と思うが、お考えをお伺いしたい。</p> <p>ウ 管理職の手当は10%程度の削減はしてもよいのではないか。</p> <p>(4) 組織の再編成を考えるべきではないか。 本年度一部統廃合したが、部の統合、室の統合を行い、室から課へ戻す必要はないか、お伺いしたい。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
2 庁舎耐震化工事及びリフォーム事業について	<p>(5) 借地の見直しと市有財産の利用について</p> <p>ア 市民の理解を得ながら、借地返還の交渉を実施すべきである。</p> <p>イ 市有財産（静銀の跡地、旧勤労青少年ホーム等）の利用計画や売却についての検討をすべきと考えるが、お考えをお伺いしたい。</p> <p>(1) 本年度庁舎耐震化工事、地下、1階及び2階ロビー等の工事は実施中であるが、市内業者の施工実施と予定数はどのようになっているか。施工業者との連絡はいかがかお伺いする。</p> <p>(2) 庁舎内2～5階部分のリフォーム工事を予定しているが、財政状況がよくない時期であり、3～5年着工を見合わせたらいかがか。リフォーム工事金額はおよそどの位の予定かお伺いしたい。</p>	市 長
3 裾野駅西地区区画整理事業について	<p>(1) 裾野駅自由通路及び駅舎建設事業が同時に進行予定であるが、財政難の折、時期的に数年の延期は考えられないかお伺いしたい。</p> <p>(2) 駅西区画整理事業の抜本的な見直しを行い、施工区域を県道より東側、御殿場線との地域として、行政需要の高い他地域等へ予算配分をすべきであり、駅西区画整理事業は、時期を延ばしたらいかがかお伺いしたい。</p>	市 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 名 職 名
<p>4 富士山麓先端健康産業集積 (ファルマバレー) 構想について</p>	<p>(1) 県が取組んでいるファルマバレープロジェクトに、早急に対応すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 本年3月末の人事異動で、特命職務をファルマバレー事業推進として、企画部長を特命としたが、1人だけでなく、複数の担当者を置くべきと考えるが、お考えをお伺いしたい。</p>	<p>市 長</p>



<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>5. 増 田 喜 代 子</p>		
<p>1 第 4 次 総 合 計 画 に つ い て</p>	<p>23年度から10年間の裾野市の方向性を示す第4次総合計画は、とても大切な計画となります。まずはしっかりと骨組み作り、安定した財政基盤の位置づけが必要だと思います。</p> <p>(1) 行政戦略会議で提言された内容は、健康文化都市を構築していく上で貴重な提案だと思いますが、第4次総合計画にどのように盛り込まれていくのでしょうか。お伺いします。</p> <p>(2) 各地域での意見の収集、次世代を担う方がた（行政職員も含む）の提案等の集約は十分されたのでしょうか。</p> <p>(3) 第4次総合計画策定に向けてこれまでの進捗経過を市民や、議会にどのような形で示されるのでしょうか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 裾 野 市 の 観 光 施 策 に つ い て</p>	<p>今年度より観光協会が独立をされ、商工会の一室をお借りしスタートしたと伺っております。今後、ますます裾野市の観光行政が独自性を持って展開されると期待しております。その一歩として、観光協会の会長の発案で、行政、地主さん、多くの団体も協賛され「パノラマロードを花一杯にする会」がまさに市民協働でスタートされることは本当に喜ばしい限りです。すばらしい富士山のあるまちとして、今後の観光施策の取り組みについてお伺いします。</p> <p>(1) 22年度に観光基本計画が策定されると伺っておりますが、より具体化するための実施計画を策定するお考えはありますか。</p> <p>(2) 静岡県東部コンベンションビューローの概要は、国内外の各種イベントを静岡県東部地域に誘致し、開催のサポートをするとありますが、これまでどのような活動をされたのでしょうか。裾野市として広域的なプラス要素はどのような事でしょうか。お伺いします。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>3 裾野市の男女共同参画社会形成について</p>	<p>(3) 商工観光室主催で開催されたフィルムコミッションの勉強会には、多くの団塊世代の方々や若い方々も参加され、会場がいっぱいとなりました。「無理をしない、裾野らしいフィルムコミッションに取り組まれたら如何か」との講師の方のアドバイスもあり、参加者は何ができるのだろうと今も考えていると思います。静岡県も協議会を立ち上げて始動し始めたと承知しておりますが、一方、沼津市を中心に広域化を図っていくとも伺いましたが、裾野市としては今後どのように取り組まれるのでしょうか。</p> <p>裾野市男女共同参画プランは、平成11年第3次総合計画に「男女共同参画社会の形成」として位置づけられ、同年「男女共同参画プラン」が策定されました。男女共同参画社会とは、「男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され男女が平等に政治、経済、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」と男女共同参画基本法第2条に謳われております。裾野市においてはこれまでさまざまな施策に取り組み、特に子育てにおいては男性が積極的に係る姿を多く目にします。しかし、まだまだ取り組まなくてはならない状況下の中で、昨年度より男女共同参画室がなくなったことは大変不安です。今後の男女共同参画社会の形成について、以下伺います。</p> <p>(1) 男女の別なくその能力が発揮される社会作りのためには、あらゆる審議会に女性の登用が必要です。裾野市の女性委員の登用状況は如何でしょうか。</p> <p>(2) 行政における女性の管理職の状況は如何でしょうか。</p> <p>(3) 近隣の市では、男女共同参画推進条例が制定されております。少子高齢化、世界同時不況の時代を男女が力をあわせ安定したまちを築いていかなければなりません。当市においても、それぞれが能力を発揮できる社会を形成するために条例化を考える必要があるかと思いますが、当局の見解を伺います。</p>	<p>市 長</p>



質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 名 職
<p>3 災害時の支援強化を</p>	<p>個人の医療情報を容器に入れて、冷蔵庫などに保管する「救急医療キット」が普及することで、緊急時に救急隊員が対象者の情報を正確に把握し、迅速な処置が可能になります。</p> <p>(1) 今後の普及と啓発についてのお考えをお尋ねします。</p> <p>(2) 災害時要援護者と高齢者、障害者のいる世帯を対象に「救急医療キット」の無料配布について、ご見解をお伺いします。</p>	<p>市 長</p>



質 問 事 項	質 問 の 質 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>3 裾野市の未来を担う小中学生の学校教育の充実について</p>	<p>平成21年度学力・学習調査結果より伺う。  [学習の分析]中学校・国語数学「学校でこれから取り組みたいこと」のコメント抜粋  国語：たくさんの情報に触れることで幅広い思考力を身につけさせる。  数学：文章が長い問題に苦手意識を持つ生徒が多い。</p> <p>[学習の分析]小学校・国語算数4観点における全国と裾野市の平均点の比較。  国語：4観点中、3観点が全国平均を下回っている。  算数：4観点中、3観点が全国平均を下回っている。</p> <p>以上のことから、小中とも国語の力が劣っている。小学校での多人数学級補助の人的効果が、小学校の基礎的成績に生かされていないと感じるがいかにか伺う。</p>	<p>市 長</p>
<p>4 初等中等教育局所管：子ども読書サポーターズ会議における提言から</p>	<p>平成21年3月策定「これからの学校図書館の活用のありかたについて」の提言から伺う。  「子どもの読書活動の推進を図る上で、学校図書館の人的・物的体制の充実を図ることが不可欠」と提言しているが、裾野市の教育行政は、学校図書館の役割をどう考えているのか伺う。</p>	<p>市 長</p>
<p>5 平成19年から平成23年までの5ヵ年計画である「裾野市子ども読書活動推進計画」について</p>	<p>計画書 策定の目的「言葉を選び、感性を磨き、表現力を高める」  計画書 表現「学校教育の中では読書活動を「生きる力」育成の重要要素ととらえ、各教科領域等において多様な読書活動を展開していく」とあるが、各学校の図書室の整備状況及び図書館司書等の人材配置は適切になされているか伺う。</p>	<p>教 育 長</p>

質問事項	質問の要旨	答弁要求者 職名
6 裾野市の教育行政は、適切な運営がなされているのであろうか	<p>こども福祉室策定「裾野市次世代育成支援策定行動計画」から、小中学校の教育の充実について伺う。 平成17年度版と、平成22年度版において、「非常勤講師派遣事業」では、平成17年から25年まで、充実すると明記されている。行動計画と現状のあまりに大きなギャップを感じるが、今後充実に向けてどうされるつもりか伺う。</p>	市長
7 教育予算の配分見直しについて	<p>国の政策「子ども手当」が、中学生終了まで月額13,000円支給される。 平成22年6月支給(4・5月分) 10月支給(6・7・8・9月分) 平成23年2月支給(10・11・12・1月分)であり、年間13万円支給される。 裾野市では、平成17年12月・市長の選挙公約として、小中学校の給食費の補助月額1,200円が平成18年度より実施され、今日に至っている。 1,200円×11か月×4,622人(小3155人+中1467人)＝61,010,400円 (1) 財源6,100万円を、各学校の図書データベース化、図書館司書並びに情報教育アドバイザーの再雇用、内務員のパート化の改善等、教育システムの充実に予算配分すべきと考えるがいかがか伺う。</p>	市長
8 「健康文化都市すその」の新たなステージへの展望について	<p>平成21年12月策定「裾野市まちづくり戦略プロジェクトプラン」について伺う。 平成23年度から10年計画で、健康・医療を核とする将来ビジョンの再構築が提案され、大変魅力的なプランであると思うが、推進するための予算計画及び推進組織について伺う。 (1) 来年度から、この計画にいくらの予算を計上されるつもりか伺う。 (2) プロジェクトチームを作る必要があると思うがいかがか伺う。</p>	市長



<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>9. 小 澤 良 一</p>	<p>改訂中小企業基本法第6条は、地方自治体にそれぞれの地域経済に対応した中小企業政策を策定し、これを実行することを義務付けています。</p>	<p>市 長</p>
<p>1 中小企業振興と雇用対策</p>	<p>(1) 裾野市は、この法の下で中小企業政策の策定を考え、実行しているか伺う。</p> <p>(2) この法の下、自治体によっては「中小企業振興条例」など名称は様々であるが条例を制定して、地域経済の振興や雇用対策に対応しているが、裾野市の条例制定について伺う。</p>	<p>市 長</p>
<p>2 すそのーる循環バスの路線見直し等</p>	<p>(1) 市内循環バス「すそのーる」路線見直しについて検討されることになっているが、検討作業に入っているか、入っているならばその内容を伺う。</p> <p>(2) 自主運行バスの運行の見直し検討はどのようにされているのか伺う。</p> <p>(3) 高齢化による運転免許の返納や、車両を持たない人々などの交通弱者と言われる人の移動手段をどのように確保していくのが課題となってきているが、裾野市の今後の施策を伺う。</p>	<p>市 長</p>
<p>3 市街化区域内の住宅未利用地対策</p>	<p>(1) 市街化区域で住宅地として活用したいが、道路接続要件が満たしていないために未利用地となっている土地はどのくらい存在しているのか。筆数並びに面積を伺う。</p> <p>(2) このような土地を生かすために道路接続をどのようにされていくのか伺う。</p>	<p>市 長</p>



<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>11. 瀧本敏幸</p>	<p>第3次裾野市総合計画は、平成11年度から22年度までの12年間を基本構想計画期間と定められており、本年度（平成22年度）が本総合計画の最終年度となります。そこで、本総合計画の基本目標を達成すべく、これまで取り組まれてきた政策・施策に対する総合的な結果や評価について以下伺います。</p> <p>(1) まちづくりの基本目標の1点目である将来人口について、目標に対する達成度と、目標達成のために取り組まれた主な政策・施策・事業はどのようなものがあったか、また、目標達成度を踏まえた評価（思い通りやれた点や、やれなかった点とその理由）を次の項目について伺います。</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 目標人口（平成22年度）64,000人</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 就業人口（平成22年度）37,500人</p> <p>(2) まちづくりの基本目標の2点目である土地利用の方向について、基本方針で挙げられている6つの項目のそれぞれに対する目標達成のための主な政策・施策・事業はどのようなものがあったか、また、総合的な評価を次の項目について伺います。</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 豊かな森林環境の保全と農地の有効利用</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 健全な住宅市街地の形成</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 魅力ある中心市街地の形成</p> <p style="padding-left: 2em;">エ 新たな工業環境整備の推進</p> <p style="padding-left: 2em;">オ 自然環境を活かした高原リゾートの形成</p> <p style="padding-left: 2em;">カ 新たな交通拠点の整備</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 地上デジタルテレビ放送完全移行に対する市の対応について</p>	<p>今から2年半ほど前の平成19年12月議会の一般質問で問題提起させて頂いたこの件について、地上デジタルテレビ放送の完全移行まで約1年後と迫った今、あらためて裾野市民に与える影響とそれに対する裾野市行政の対応について以下伺います。</p> <p>(1) 高齢者世帯への対応について、平成19年12月議会では、当時の企画部長から「完全移行の時期に近くなれば、デジタル放送受信に必要な機器の価格も下がると思うので、近くなったら市民に積極的に働きかけていきたい。また、高齢者世帯などには民生委員さんや区長さんにも協力をお願いしていきたい。」という旨の答弁を頂きました。そこで以下の点を伺います。</p> <p>ア これまでに、高齢者世帯に対する啓蒙活動はどのようにされてきたか。</p> <p>イ 現時点において、高齢者世帯の方々には十分に理解し、地上デジタル放送完全移行の日を安心して迎えることができると、裾野市行政として考えているのか。(行政担当として認識している新たな課題はないか。)</p> <p>(2) 低所得者の地上デジタル放送受信に必要な機器購入に対する経済的支援について、平成19年12月議会では、当時の福祉事務所長から「総務省の情報通信審議会等の動向や他の市町の状況も踏まえながら、今後市としての対応を検討していきたい。」との答弁を頂きました。そこで、以下の点を伺います。</p> <p>ア 低所得者に対する経済的支援について、現時点における裾野市の考えはどうか。</p> <p>(3) 地上デジタル化に関連した悪徳商法等の被害について、これまで市民からの相談はあったか。</p> <p>(4) 本年3月議会において、同僚議員から地上デジタル放送の難視聴地域への対応について一般質問されましたが、それらの点も踏まえて、あと1年後に迫った地上デジタルテレビ放送に向けて、解決しなければならない課題があれば、その内容と対応方法について伺います。</p>	<p>市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁要求者 職 名
<p>3 市内幹線道路の渋滞緩和について</p>	<p>平成21年12月議会の一般質問において、市内幹線道路である国道246号等の渋滞緩和と通行車両が排出するCO<sub>2</sub>削減効果も期待できる東名高速道路の活用を、近隣市町との協議を前提とした社会実験の実施を提案いたしました。これに対して大橋市長から「高速道路の無料化は社会実験区間等不透明な部分があり、まずは国の動向等情報収集に努める。また、渋滞解消に東名を使うという社会実験については、2市1町(御殿場、小山、裾野)で検討し県・国へ提案していきたい。それには3市3町、駿東地区とも話し合いをし、よく検討して実現できるように努力したい。」という旨の答弁を頂きました。そこで、その後の経過について以下伺います。</p> <p>(1) 昨年12月の答弁の後で、このことについて大橋市長も考えられたことと思いますが、半年が過ぎて、市内幹線道路の渋滞緩和のための手段として、東名高速道路の活用は有効な手段であると考えておられるのかを再度伺います。</p> <p>(2) 東名高速道路の活用に関する社会実験について、近隣市町の首長と協議されたかどうかを伺います。</p> <p>(3) この社会実験の実現に向けて、大橋市長は今後どのように行動されるのかを伺います。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>12. 岡本和枝</p>		
<p>1 まちなかの水害(内水洪水)対策について</p>	<p>(1) まち中で小水路や側溝があふれ、水害を引き起こしています。現時点での浸水被害地域(改善がなければ今後も被害を受ける地域・対策が必要な地域)をどのように認識されているのかを具体的にお知らせください。</p> <p>(2) それらの地域の個別対策は考えられているか。</p> <p>(3) 内水洪水の全市的な対策はあるか。</p> <p>(4) 雨水の有効利用等は考えられているか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 介護保険始まって10年利用しやすいサービスを</p>	<p>2000年に介護保険が始まって10年が経過しました。介護保険制度は、もともとサービス利用には高いハードルがあります。天引きされる保険料、利用の申請、要介護認定調査、ケアプラン作成とサービス事業者との契約、そしてサービスを受けるには1割の利用料負担が必要です。その中で、在宅で自分らしく生活するために「ホームヘルプ サービス」の利用がありますが、保険給付を抑えるためとしてサービス利用の制限が行われ問題になっています。この間、厚労省は「一律機械的に保険給付の可否を判断するな」という通知を市町村に出しています。この件について、事業者や利用者から、どのような声が上がっていますか。保険者としての裾野市の対応は。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>3 子宮頸がんワクチンへの公的助成を</p>	<p>長妻厚労相は「三種(ヒブ、肺炎球菌、子宮頸がん)のワクチンは予防接種法に位置づけるか否かについて、優先順位の高い部類として予防接種部会でご論議いただいている」と述べています。静岡県下でも川根本町が中学1年生～29歳対象で一部負担を行っています。裾野市の子宮頸がんワクチン接種への公費助成について伺います。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

<p>質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p>質 問 の 要 旨</p>	<p>答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>13. 杉本和男</p>	<p>行政経営上、好不況に多少は影響されても、ある程度安定した歳入を図る必要がある。 以前から申し上げてきましたように、いつか今日のような状況になることはわかっていたはずですが。財政の安定は行政の安定です。行政の安定は市民にとって安心して住める市ということだと思います。</p> <p>(1) 企業誘致の推進について ファルマバレー構想による産業振興策は当然のこととして、当市の産業構造の多様化を図ることは、喫緊の課題と考えます。企業誘致といえば、大企業の大規模開発を考えてしまいます。 企業規模や立地規模にかかわらず進出企業に援助し、育成するのも大事なことだと思います。 規模（敷地面積、建物、雇用者数）、業種（当市にとってバランスの取れる）、将来性等により分類し、企業誘致の推進、支援することはいかがか伺います。 工業、準工業地域の残地は何パーセントで、面積はどのくらいか伺います。</p> <p>(2) 定住人口の増加を図る 遅々として進まない市街化区域の宅地化、狹隘道路の整備、そこで手っ取り早く人口増加を図るには、新戸住宅建築者への支援策はどうでしょうか。特に経済活性化を図るためにも、市内業者施工の場合においてはいかがか伺います。</p>	<p>市長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>14. 二見 榮 一</p>	<p>当市の財政状況を見ると経費の節減や事務事業の効率化等を主とした行財政改革は早急かつ大胆に取り組まなければならない状況と同時に、当市は今後の発展につながる施策を同時に進行させなければならない。車づくり産業の今後の好転を期待しつつも、当市は車づくり産業から健康産業のまちづくりへとベクトルを向け、景気等に左右されにくい自治体として早急に構築していかなければならない。</p> <p>(1) 当市のこれからの財源確保はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 進めようとしているファルマバレープロジェクトでの取り組みで、現在の状況とこれまでの経緯を伺います。</p> <p>(3) 県との連携の経過はどのようになっているのか。</p> <p>(4) 当市への健康産業誘致の重要性をどのように認識しているのか。</p> <p>(5) 近隣町に静岡がんセンターがあり、陽子線治療を行っているが、それよりもはるかに高性能な世界的にもがん治療で極めて注目されている施設を、全国ではわれ先と誘致に躍起になっていると聞き及んでいる。 そこで、当市としてすでに出遅れている感が否めないが、これを進めるにあたり片手間では無理であると考え、早急にプロジェクトチームをつくり取り組む考えはあるか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 子宮頸がんワクチン接種について</p>	<p>女性特有のがんでは「乳がん」に次いで発症率が高い「子宮頸がん」を予防する国内初のワクチンの接種が、平成21年12月22日県内をはじめとして全国の病院などで始まった。</p> <p>既にアメリカをはじめとして100ヶ国以上で承認され、解禁が望まれていた。しかし、自費診療扱いの接種費用は少なくとも総額4～5万円前後になる見込みである。</p> <p>全国で年間2,500人が死亡しているとされる。県内では子宮体がんとの合計で156人(2007年)が亡くなっている。ワクチン接種により、子宮頸がん予防ワクチン(HPV)を抗原と認識する免疫が働くことにより潜伏感染を阻止し、HPVに起因する発がんの予防が期待できる。</p> <p>当市としても早急に対応を進めていく必要がある。</p> <p>(1) 県内での動きはまだ鈍い状況であるが、当市としてワクチン接種について、どのように考えているか。</p> <p>(2) 10代の早い時期の接種が進めば、10年、20年後には患者は大きく減らすことができる。しかし、負担が高額になることから、公費助成の方向性はどのように考えているのか。</p>	<p>市長</p>